

群馬 ビルメンニュース

2018
No.40
盛夏号



「滝は吹割 片品溪谷」撮影：佐藤祐二氏



平成30年8月1日発行

一般社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会



(一社)群馬県ビルメンテナンス協会
会長 村田 茂行

平成30年度も 盛り沢山な事業を 実施して行きます

本年5月の総会及び臨時理事会で今期、会長としてご承認頂きました。大変お世話になりますが皆様のご協力をお願い申し上げます。

昨年12月26日に群馬県と災害支援協定を締結し、総会で各市及び郡毎に担当する会員を決め、いざという時に備え体制整備を行いました。

本年も、障がい者支援事業を積極的に実施して行きます。県内各所の特別支援学校高等部へのビルクリーニング巡回指導、県庁等での集合教育も積極的に実施して行きます。

アビリンピック(障害者技能競技会)群馬大会は、今年度より開催時期が変更になり、2度の事前研修会を行い、7月7日(土)に大会を実施しました。練習の成果もあり、白熱した競技内容でした。

7月24日から10月まで3か月間に亘り、ビル設備管理コース委託訓練を行います。募集当初、応募者が少なく開催が危ぶまれましたが、昨年に引き続き開催することになりました。研修生は2級ボイラー等の資格にチャレンジし、良い成績を修めて設備管理の職場への就職を目指します。昨年度の就職率は、100パーセントでした。今年度も大いに頑張ってもらい、良い結果が期待されます。

8月には設備管理研修会で、低炭素社会の

実現に向けて環境省が定めた「エコチューニング認定制度ガイドライン」に基づき、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会内に設置したエコチューニング推進センターより講師を招きエコチューニング手法研修会を行います。エネルギー使用状況の詳細分析、エコチューニングによる運用改善の実践等を学び業務用等建築物から排出される温室効果ガスを削減し建築物の快適性や生産性を確保しつつ、設備機器、システムの適切な運用改善等を行い低炭素化、コスト削減を目指します。

10月には、第18回安全衛生大会を開催します。毎年100名を超える皆さんに参加して頂いております。ビルメンテナンス業は転倒災害が4割程度を占めています。ヒヤリ・ハット事例も発表して頂き労働災害削減の参考として頂きたいと思っております。

近年、女性セミナーが大変活発になってきました。会員各社の事務職等の女性は今迄、交流の機会が少なかったのですが、最近は女性セミナーの参加者も多くなり、交流も盛んになって来ました。

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく研修は、例年通り実施します。今年度も、多くの事業を積極的に実施致して行きます。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



富岡労務管理事務所
群馬県社会保険労務士会
会長 富岡 政明

求人票の労働条件を 変更等する場合の 対応

平成30年1月1日より改正職業安定法の一部が施行となりました。改正項目の一つに「求人票等の労働条件の記載を変更等して求職者を雇用する場合、変更内容等を明示することが義務付けられる」というものがあります。

変更通知は、労働条件の「異なる内容を提示」「幅のある労働条件を特定」「削除」「新たな条件を提示」する場合に変更前後の内容を対照できる書面を交付する、又は採用時の労働条件通知書において変更内容等に下線や着色などして脚注をつける方法などにより、求職者が変更内容を適切に理解できるような方法で明示することとなっています。

さらに求人票で明示しなければならない事項にも追加がありました。今回の法改正により試用期間に関する事項、裁量労働制を採用する場合はその旨、時間外手当を固定残業制にする場合は、その手当が何時間分の残業に相当し、規定時間を超えた場合は追加して時間外手当を支給するといった記載も必要となっています。

また、求人票提出の際には、三六協定および就業規則の提出の有無についても確認を求められるようになり、虚偽の条件提示による求人者の申込みや労働条件の明示義務違反に対する罰則・指導等も強化されています。

改正の背景として、求人票と実際の労働条件の相違によるトラブルが多発していることが挙げられます。特に固定残業手当は入社後にトラブルになるケースが多いため、このような取り扱いとなったようです。

入社後の実際の労働条件については、求職者の経験、年齢、能力、希望状況、面接結果などを踏まえて決定されるため、求人票の条件と異なることも考えられます。その変更が全て違法になるものではありませんが、実際に想定していない高い労働条件を提示して不当に募集を誘引する悪質な例だけでなく、実態と異なる条件の記載によるトラブルは多く発生しています。

厚生労働省発表の「平成28年度のハローワークにおける求人票の記載内容と実際の労働条件の相違に係る申出等の件数」によると、ハローワークへの全苦情・相談件数9,299件中「求人票の内容が実際とは異なる」旨の相談は3,608件と4割を占めています。入社後労働条件を巡って訴訟に発展したうえ、求人票に記載された労働条件が入社後の労働条件と判断された例もあります。

近年では労働法の関連知識を調べたり、労働トラブルを相談したりする機会も増えていきます。人手不足などを背景に有効求人倍率も高い水準が続いており、採用される側が優位となることで、企業の労働条件をチェックする目はますます厳しくなっていくと予想されます。法改正や雇用環境の変化が多くある中、過去の内容のままの労働条件となっていないか、実際の労働条件と相違はないか確認し、対策いただくこともトラブル防止の一助となるでしょう。



平成30年度 通常総会開催

(一社)群馬県ビルメンテナンス協会 群馬県ビルメンテナンス協同組合 群馬県ビルメンテナンス政治連盟

平成30年5月28日(月)群馬県ビルメンテナンス会館において、通常総会が開催された。

一般社団法人群馬県ビルメンテナンス協会

村田茂行会長が簡単な挨拶を行い、来賓として群馬県健康福祉部食品・生活衛生課次長高田勇人様より祝辞をいただきました。その後、事務局より、総会に必要な定数の報告があり、会長が議長となり審議した。

● 第1号議案	平成29年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
● 第2号議案	平成29年度公益目的支出計画実施報告書承認の件
● 第3号議案	役員改選の件
● 第4号議案	基金返還の件
● 報告事項	平成30年度事業計画並びに平成30年度収支予算について報告

夫々、事務局長より説明があり、併せて監査報告を福島宏成監事が行い、その後議長は議場に諮ったところ全員異議なく承認された。また、新役員として次の方が選任されました。

● 会 長	村田茂行(再任)
● 副会長	福田雅之(再任)
● 理 事	高野 健(再任)
● 理 事	山田 実(再任)
● 理 事	山本和夫(再任)
● 理 事	高橋康男(再任)
● 理 事	加藤幸雄(再任)
● 理 事	富岡政明(再任)
● 監 事	福島宏成(再任)



群馬県ビルメンテナンス協同組合

高橋康男理事長より簡単な挨拶のあと、事務局より総会に必要な定数の報告があり、理事長が議長となり審議した。

● 第1号議案	平成29年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
● 第2号議案	平成30年度事業計画並びに収支予算案決定の件

専務理事が説明し、併せて監査報告を田中賢司監事が行い、その後、議長は議場に諮ったところ全員異議なく承認された。

群馬県ビルメンテナンス政治連盟

塚田且美理事長が議長になり、夫々の議案を審議した。

● 第1号議案	平成29年度事業報告書並びに収支決算書承認の件
● 第2号議案	平成30年度事業計画並びに収支予算決定の件

事務局が夫々説明し、議長は議場に諮ったところ全員異議なく承認した。

平成30年度 事業計画・協会行事

一般社団法人 群馬県ビルメンテナンス協会の事業の目的・方向性

- (1) 定款記載の目的を達成するための事業の推進
- (2) 研修センターの有効活用を継続してすすめる
- (3) (公社)全国ビルメンテナンス協会との一層の連携を図り、事業を構築する
- (4) 関係諸官庁へ協会の要望事項を発信する
- (5) 情報収集と会員への伝達

● 積算・見積研修会		平成30年 7月19日
● 設備研修会		平成30年 8月 7日
● 清掃作業従事者研修会(前橋会場)		平成30年 9月 7日
● 清掃作業従事者指導者講習会		平成30年10月17日
● ビルクリ1級3級技能検定準備講習会		平成30年10月開催予定
● 清掃作業従事者研修会(太田会場)		平成30年11月 8日
● ビルクリ1級3級技能検定直前講習会		平成30年11月13日
● 病院清掃作業従事者研修会		平成31年 2月 2日
● 防除作業従事者研修会		平成31年 2月開催予定
● 貯水槽清掃作業従事者研修会		平成31年 2月開催予定
● 家事・介護支援講習	渋川会場	平成30年 6月25日
	藤岡会場	平成30年 7月10日
	桐生町会場	平成30年12月18日
● 店舗クリーンスタッフ講習	伊勢崎会場	平成30年 8月 1日～ 8月 2日
	富岡会場	平成31年 1月24日～ 1月25日
● ビル設備科管理者育成講座(前橋産業技術専門校委託)		平成30年7月24日～10月23日(3ヶ月間)
● 安全パトロール		平成30年 7月11日
● 安全衛生大会		平成30年10月 2日(前橋テルサ)
● 春の環境美化月間 清掃活動の参加(群馬県主催)赤城山大沼周辺		平成30年 6月 3日
● 厚生事業	ゴルフ大会	平成30年 6月19日(赤城国際CC) 平成30年11月 7日(倶楽部我山)
	ボウリング大会	平成30年 9月14日
● 女性セミナー「忙しい女性のための整理収納術」		平成30年 7月13日
● 女性会バスツアーでリンゴ狩り		平成30年10月28日
● 女性セミナー「大規模災害に備えるー地震災害を女性の視点から考える」		平成31年 2月13日
● ぐんまアビリンピック大会事前練習会		平成30年 6月28日・ 7月 4日
● ぐんまアビリンピック大会		平成30年 7月 7日

特別支援学校への清掃作業指導講習

● 吾妻特別支援学校(先生対象)	4月11日	● 沼田特別支援学校	6月14日
● 富岡特別支援学校(先生対象)	6月 1日	● 館林高等特別支援学校	6月20日
● 高崎高等特別支援学校	6月 5日	● 渡良瀬特別支援学校	7月 9日
● 高崎特別支援学校	6月 6日	● 伊勢崎特別支援学校	7月18日
● 富岡特別支援学校	6月 8日	● 高崎特別支援学校	9月26日

介護のための家事援助サービス講習(渋川会場)について

太陽ビルサービス(株) / 小林 礁太郎

今回、平成30年6月25日渋川会場にて私が講師として家事援助サービス講習のビルクリーニングを担当させて頂きました。講義内容としては、「ビル清掃とは何か」であり、なぜ清掃を行うのか、清掃の本質とは何かを中心に講義致しました。

清掃を行うことはただきれいにすることが目的ではなく、菌の繁殖の予防、ウィルス感染の予防等、様々な効果を得られることの重要性を伝えました。

また、講習の後半は技能講習を実施し、ガラスクリーニングを専門の道具で実施してもらうことで、簡単にきれいになることを体験し、皆さんが感動していました。

今後においてもこの「家事援助サービス講習」を通じ、清掃のすばらしさを伝えていくことを強く思いました。



特別支援学校清掃指導講習会について

東朋産業(株) / 齋藤 真尚

障害者就労支援特別委員会を平成20年6月に発足してから10年経過しました。初めは、教職員に向けての講習会でしたが、年数を重ねていくにつれて直接学校に来て指導してもらいたいとの声が増えていき、特別支援学校の生徒に向けての講習会が始まりました。講習内容は、基本清掃作業で、タオル・自在箒・文化チリトリ・ダスタークロス・モップ・スクイジーの使い方などになります。

「ちゃんと伝えられるだろうか?」「受け入れてくれるだろうか?」など不安を抱えながらのスタートでしたが、いざ始めてみると、大きな声で「はい!」と返事していたり、積極的に実習を受けていたり、非常に真面目で熱心に受講している姿にびっくりしました。

学校の先生方の普段の指導のおかげもありますが、生徒達自身が非常に純粋で、前向きな姿勢を持っている事に感動しました。もちろん習熟度合は個々で違いますが、基本作業を何度も繰り返している内に、上手になっていくのが目に見えてわかります。特にレベルの高い生徒は、アビリンピック障害者技能競技会に出場もしています。

近年では、群馬県中の特別支援学校で年間約10回の講習会を開催するまでになりました。今後、我々も一緒に勉強をしながらこの講習会を開催していき、生徒達にも少しでもビルメンテナンスに興味を持ってもらい就労につながってほしいと思います。

「ぐんまアビリンピック2018大会」開催

■ 平成30年 6月28日・7月4日 事前講習会

ぐんまアビリンピックは、昨年の2017大会まで2月に行われてきましたが、今年度2018大会より、7月に実施することになりました。

さて、事前講習ですが今年度は6月28日、7月4日の2日間ビルメンテナンス会館で行われ、大会参加の5校20名程の生徒が参加し、各人が作業の手順(ダストクロス・自在箒・水拭き・机上拭き)を確認しながら、本番を見据えて訓練をいたしました。

付添いの先生、親御さんも、心配そうな様子で見学していましたが、何回か繰り返し訓練をするうちに生徒達の腕も上がり、少し安心した様子でした。

2日間の訓練において、事前訓練の重要性、訓練することにより不安の払拭、訓練は自分を成長させる等、自分自身の自信につながる事を理解できたと思います。



■ ぐんまアビリンピック2018大会 [開催日:平成30年7月7日]

今年度は7月実施とのことで暑さ対策が必要となり、昨年までは高崎市ポリテクセンター群馬において「体育館」で実施してきましたが、空調の効いた本館の大会議室に変更し大会が実施されました。

大会は、男子15名女子2名の参加で盛大に行われ厳正な審査の結果、館林高等特別支援学校の加藤大雅君が金賞に輝きました。事前練習では不安そうに取り組んでましたが、本番まで相当頑張ったと見えて、表彰式が終わり、大会が終了したときの加藤君の表情には満足感と達成感が漲っていました。

参加された選手の皆さんには、今回の大会の経験を生かし、何事にも一生懸命に取り組まれるようお願いいたします。



春の環境美化運動を終えて

青年部常任幹事 / 篠原 克弘

群馬県では5月・6月の春の環境美化月間で「美しい郷土を守る県民大作戦」を実施し、県内各地で清掃活動やごみの不法投棄防止などを呼びかけ普及啓発活動を実施しました。

当協会も毎年この活動方針に賛同し参加させていただいております。今年は6月3日(日)に赤城山大沼周辺地区の清掃活動に参加させていただきました。

例年の通り赤城神社・キャンプ場・水門までと3組に分かれ実施しました。本年度は天気にも恵まれ180名もの方が参加していただきました。昨年は大変気温が低く震えながらでしたが今年は最高の天気で汗をかきながらの作業となりましたが大勢の方に参加していただき、この運動が各社様に浸透してきたことを大変ありがたく思います。

この春の環境美化運動も回数を重ねていることから、毎年ゴミの量が減っているように感じます、赤城山は群馬を象徴する山ですので何時もごみが無くきれいな状態で観光客の皆様を迎えられ気持ち良く過ごしてもらえたらと思います。

これからも、当業界は建物管理業(清掃業・設備管理業)であることから、社会がきれいで、皆様に使いやすく、仕事のしやすい環境づくりに邁進していければと思います。

最後に、今回の活動が無事に終了できた事について、事務局、青年部及び各社関係者の皆様方のご協力によるものと感謝申し上げます。

来年度も更なるご参加をお願い申し上げます。

！ご参加いただいた皆様ありがとうございました。！



参加企業

オオラ美装(株)・(株)環境保全センター・(株)協和・群馬中央ビルサービス(株)・(株)グンビル
グローブシップ(株)群馬支店・ケービックス(株)・JR高崎鉄道サービス(株)・上毛資源(株)
太平ビルサービス(株)前橋支店・太陽ビルサービス(株)・テルウェル東日本(株)群馬支店
東朋産業(株)・東洋ポリーズ(株)・(株)ビルメン・(株)ビー・エム・シー・
ファースト・ファシリティーズ群馬(株)・藤田テクノ(株)・大和メンテナンス(株)

春の環境美化運動に参加して



グローブシップ(株)群馬支店/木暮 正

平成30年6月3日(日)に行われた、赤城山・大沼周辺の環境美化運動に4度目の参加をさせていただきました。3年前に参加させていただいた時は気温が低く、風も強く半袖では耐えられない位の天候でしたが、今回は天気も良く絶好の活動日和でした。

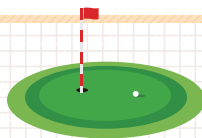
弊社の班はキャンプ場までとなっていました。足取りも良く、結局大沼1周して活動を終了しました。大沼周辺の印象は、今年もとてもきれいでしたが、木の陰には発砲スチロールやビニル袋、タバコの吸い殻も少しありました。今回も活動終了後、お弁当とお茶をいただき自宅まで下山しました。

来年も是非参加させていただき、赤城山何れかの登山をしたいと思えます。赤城山大沼の環境美化に貢献出来る活動に参加出来ることを楽しみにしております。



GBK杯

GBKゴルフコンペに参加して



梅雨の合間、天候に恵まれた絶好のゴルフ日和に、第59回GBK杯が私のメンバーコースである赤城国際CCで開催されました。

月例会での挫折の日々から得た教訓や気紛れな強運を味方に“地の利”を得て、午後のハーフを37で回れたことが、諦めていた優勝へと導いてくれました。

もっとも“地の利”を活かすだけでスコアが良くなるほど、赤城国際CCは優しくはありません。その要因は、久保田さんと同組になったお陰と思っています。安定したスイングから放たれるロングドライブと絶妙なグリーン周りのショートゲームに圧倒されながらのラウンド。自分も「同じように上手くゴルフがしたい!」その強い思いが、重ねてきた練習場通いと毎日のパター練習の成果として、スコアに表れたと感じたからです。

上級者の背中を追いかけると「ゴルフが自然と引き上げられる」そんな事を感じた一日でした。

太陽ビルサービス(株)/富岡 孝



太陽ビルサービス(株)

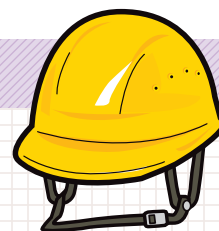
富岡 孝

2位 久保田 智之

3位 岡田 正



安全パトロールが実施されました



ケービックス(株) / 清水 寿佳

平成30年7月11日に群馬県庁舎の清掃業務部門において協会による安全衛生パトロールが実施されました。

この群馬県庁舎の清掃業務はグローブシップ(株)群馬支店、ケービックス(株)、太陽ビルサービス(株)、東朋産業(株)の4社で分担して運営されており、今回各社個別に安全就労への取り組みや注意点についてヒアリングが行われました。

その中で各個人が安全に仕事がしたいと強く思っていることは当然としても、では、そのために具体的にどうしたら良いか、どこに注意すれば良いかという判断をするための基礎となる知識や情報といった部分がまだまだ不足していると感じました。

残念ながら一昨年度、群馬県庁舎では作業中の転倒事故が1件発生してしまいました。その時の教訓を活かし、今後も安全教育の充実と、こまめな情報発信・共有化を推し進め、一丸となって事故ゼロを目指して行きたいと思います。

“労災事故防止は経営者自ら取り組んでほしい”

保険料率は据え置きになり(2018年～2020年の3ヶ年)ビルメンテナンス業は5.5(1000分の)警備業・消毒・害虫業6.5(1000分の)アップはかるうじて、避けることはできましたが、決して楽観できる状態ではありません。少しずつ事故件数はあがっています。

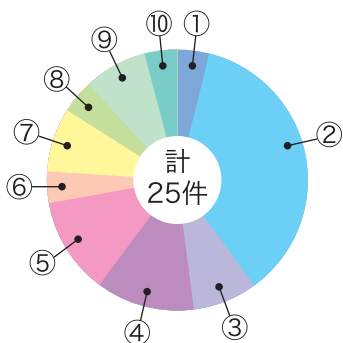
協会では安全パトロールの実施、KYT研修・安全衛生大会、毎月の労災事故報告をお願いし持続的に事故防止の取り組みをお願いしています。事故防止は日々の取り組みを如何に持続して行い、幹部の皆さんはもとより、経営者層の熱心な取り組みこそが減少につなげるものと思います。

群馬県協会の労災事故(平成29年1月1日～12月31日)

会員企業より届出があった事故報告をもとに作成

1. 事故の型別

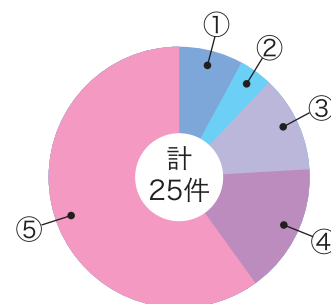
- ① 墜落・転落……1件
- ② 転倒……9件
- ③ 激突……2件
- ④ 飛来・落下……3件
- ⑤ 挟まれ・巻き込み……3件
- ⑥ 切れ・こすれ……1件
- ⑦ 交通事故……2件
- ⑧ 動作の反転……1件
- ⑨ 針刺し……2件
- ⑩ その他……1件



2. 年齢別階層

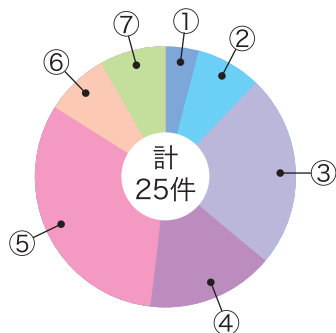
- ① 30～39歳……2件
- ② 40～49歳……1件
- ③ 50～59歳……3件
- ④ 60～64歳……4件
- ⑤ 65歳以上……15件

※「19歳以下」、
「20～29歳」は0件



3. 発生時間帯

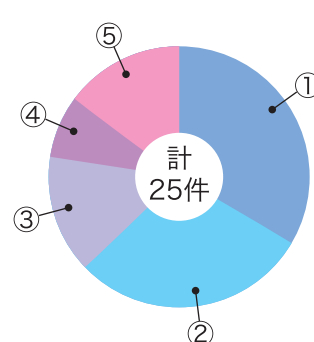
- ① ～7時……1件
- ② ～9時……2件
- ③ ～11時……6件
- ④ ～13時……4件
- ⑤ ～15時……8件
- ⑥ ～17時……2件
- ⑦ 17時以降……2件



4. 休業日数

- ① なし……9件
- ② 3日以内……8件
- ③ 4日以上……4件
- ④ 15日以上……2件
- ⑤ 31日以上……4件

※「91日以上」、
「死亡」は0件



女性セミナー『忙しい女性のための整理収納術』で笑顔いっぱい

整理収納計画 くらこことと 代表/久保 かをる

平成30年7月13日、最高気温が35度を超える猛暑日の中、たくさんの皆様にご参加頂きまして誠にありがとうございました。

題目は「忙しい女性のための整理収納術」。女性は日頃から、仕事を持ちながら家事や育児・介護に奮闘している方が多いです。そんな毎日頑張っている女性の忙しさを少しでも軽減し、家事が楽になるお手伝ができればと思い講座を構築致しました。

セミナー冒頭にチェックリストをつかって自分のタイプを確認しました。片づけが苦手なのか得意なのかで、取り掛かる場所や取り掛かり方が変わります。タイプ別に結果を発表していくと、大きく頷く方、ちょっと困った顔の方、そして笑いが起こり様々な楽しい反応がありました。

本題の整理収納の基本や手順、コツなどを学んだあとは、ご自分の家庭に置き換えて目標を立てて頂きました。私は日頃から「知識を得ても実践しなければ意味がない」と思っています。ですから、大きな目標ではなく小さくても良い自分なりの目標を立てて、それを持ち帰って実践して頂く事が大切だと思っております。それぞれの課題や目標を書き出しモチベーションアップになったようです。

そして現場事例の写真を映した時には、皆さん、真剣な眼差しでご覧になっていました。

セミナーの中でも申し上げましたが、整理収納を正しく実践すると「無駄な時間がなくなり」「節約にもなり」「ストレス軽減」になり日々の生活が圧倒的に楽になっていきます。そして余裕が生まれ、女性が元気に笑顔になれば家庭や職場環境にも良い影響を及ぼす事は間違いありません。

ワークでは、紙袋を使った簡単収納用品を作りましたが、ワンランク上の創意工夫がみられ、とても感心しました。

あっという間の3時間でしたが有意義な時間となりました。アンケートには「とても楽しくためになるセミナーでした。」「とても参考になりました。早速今日から実践したいです。」等のご感想も頂きとても嬉しく思っております。

今回、このような貴重な機会を頂きまして誠にありがとうございました。会長の村田様を始め、事務局の天田様、お忙しい中ご参加頂いた皆様には心から感謝申し上げます。



女性のための整理収納セミナーに参加して

上毛資源(株)/小林 由美

働く女性である私は毎日の生活が忙しく、なかなか家の整理整頓ができません。会社で掃除の仕事をしているのに家にモノが多い、断捨離できない、片づかないというのが現実で悩みの種です。普段、片づけられず見て見ぬふりをしている空間があることでストレスが溜まってしまいます。

今回セミナーを受講してハッとすることがあります。当たり前のことですが、入ってくるモノに対して出ていくモノの量が少ないということです。考えてみれば当たり前のことですが、これが大きな原因だったのです！そのことを意識して生活し、出すものを出してその上で整理するシステムを作ること。そんなサイクルが大切だということを教えて頂きました。

意識しなければモノは減りません。モノを減らす、モノを分ける、そしてモノを収めるということを意識して生活をしてみたいと思います。



お知らせ

代表者の 変更

JR高崎鉄道サービス(株)	代表取締役社長 山中 毅
テルウェル東日本(株) 北関東信越支店	群馬支店長 野口 浩由
平成警備(株)	代表取締役 井田 利一

安全衛生大会の開催案内

日時：平成30年10月2日(火)14:00～
会場：前橋テルサ 8F けやきの間

近年、労働災害発生件数の減少は鈍化傾向で、ほぼ横ばい状態で推移しています。一方、働き方改革実行計画を踏まえ、長時間労働者の健康確保対策やメンタルヘルス対策等に取り組むことが必要になっているほか、疾病を抱える労働者の健康確保対策を推進することも求められています。当協会でも安全衛生週間を機に労働災害防止を重点的に取り組んでいるところでございます。

今年も昨年同様、優良安全衛生管理者表彰、安全標語の入選作品の発表、労働災害の事例発表を行います。

特別講演は、県民健康科学大学の先生による「はたらく人のストレスーからだの声を聴くー」というテーマでご講演いただきます。

ビルメンテナンス業の現場における労働災害を1件でも無くしましょう。

ビルメンヒューマンフェア & クリーンEXPO 2018

日時：平成30年11月20日(火)～11月22日(木) 10:00～17:00
会場：東京ビックサイト(有明・東京国際展示場)

全国のビルクリーニング技能者が清掃技術を競うビルクリーニング技能競技会やガラスクリーニング選手権、会場内セミナー等見逃せない企画が多数実施されます。ぜひ、ご来場ください。

編集後記

“社会貢献活動”

全国協会は地区協会がそれぞれの地区で社会貢献活動を行っている事に支援(助成)を行っている。群馬県協会は障がい者支援を積極的に行い、その活動は群馬県当局をはじめとして、大きな評価を受けている。当初は小規模な活動であったが、今では、特別支援学校生徒の指導が年間で300人～400人に達する。生徒たちが社会で活躍する礎を支援している。生徒が社会に出て、堂々と生きることを支援し続ける。これが、まさに社会貢献活動と思う。(事務局長 品川)

【表紙の説明】上毛かるたより「滝は吹割 片品渓谷」

尾瀬沼の近くから流れる片品川に長期にわたり浸食されて出来た片品渓谷。三方から河川が流れ落ちる姿から「東洋のナイアガラ」と称される吹割の滝をはじめ、不思議な形の岩や美しい景色を見ることが出来ます。